

製品安全データシート 91/155/EEC

アウロ 除去剤 No.4 1 2

制定日：2006年5月23日

発行日：2006年11月14日

1. 製品名 / 会社名

1.1 製品名：アウロ 除去剤 No.4 1 2

1.2 物質の特定：カビの発生を抑える液体。

1.3 製造元：AURO植物化学(株) アルテ フランクフルター シュトラーセ 211、D-38122
ブラウンシュヴァイク ドイツ

1.4 情報提供先：TEL：+49 (0) 531 - 281410 (代表) FAX：+49 (0) 531 - 2814161
<http://www.auro.de> info@auro.de

1.5 緊急連絡先：TEL：+49 (0) 531 - 2814121 (研究室) または、+49 (0) 171 - 7666259

2. 組成/構成成分明細

成分：ホウ砂 CAS1303 - 96 - 4、ホウ酸 CAS10043 - 35 - 3、重量比 10%以下。

3. 危険可能性

3.1 危険マーク：非危険物質。

3.2 危険分類名：危険物表示なし。

3.3 人間及び環境への危険性に関する特記事項：なし。

4. 応急処置

4.1 一般的注意事項：特別な対策は、必要ない。心配な場合は、医師に相談する。

4.2 飲み込んだ場合：嘔吐は避け（誤嚥の危険）、多量に給水する。

4.3 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にする。

4.4 目に入った場合：すぐに水または洗眼液でよく洗う。

4.5 皮膚に付着した場合：すぐに大量の水と石鹼で洗い流す。

4.6 異状を感じた場合は、医師の診断を受ける。

5. 火災対策

5.1 適当な消火剤：周囲の燃焼に適合する消火器。製品自体は、可燃物でないし、爆発または引火しやすいものではない。

5.2 不適当な消火剤：周囲の地域で火原因に依存すること。

5.3 特別な保護機材：必要でなく、製品として可燃物でない。

5.4 製品自体に起因する特別な危険または火に対する分解製品：何もない。可燃物でない。

5.5 追記事項：何もない。

6. 漏洩対策

- 6.1 作業者予防処置：皮膚と目との接触を避ける。
- 6.2 環境予防処理：広い地域（例えば、封じ込めまたは油バリアによって）への拡散を防ぐ。排水管または海に放出しない。
- 6.3 掃除／除去の方法：吸収力のある材料（例えば、砂）で巻き取って、市町村条例に従って、材料を処分する。大量の水を使用して掃除する。

7. 取扱い及び保管

- 7.1 取扱い：本製品の所定通りにしか使用してはならない。
- 7.2 安全な取扱いのための注意事項：定められた通りに取扱うということ以外になし。
- 7.3 火と爆発からの保護に関する注意事項：特別な対策は、必要ない。
- 7.4 保管場所及び容器への要求：乾燥した冷所に保管する。ただし、凍結してはならない。子供の手の届かないところで密閉して保管する。
- 7.5 混在保管の禁止：特別な対策は必要ない。
- 7.6 貯蔵状況に関する更なる情報：貯蔵場所の十分な換気を気にかける。未許可の人の接触を禁止する。

8. 露出規制／人的保護

- 8.1 技術的処置：使用の直後に用具を洗浄する。また、7を参照する。
- 8.2 モニターされる職業的露出限度による要素：何もない。
- 8.3 人的保護器材：
 - 8.3.1 一般的保護処置：殺生物剤の一般的取扱いに関する予防処置をする。食べたり、飲んだり、霧状にしてはいけない。
 - 8.3.2 衛生処理：作業前、作業後に手を洗う。皮膚保護クリームを使う。
呼吸保護：特別な対策は、必要ない。
 - 8.3.3 手の保護：特別な対策は、必要ない。広い場所をスプレーする場合は、(DIN/EN 374によって) 保護手袋を使う。メーカーの推奨する方法を行う。
 - 8.3.4 目の保護：特別な対策は、必要ない。広い場所をスプレーする場合は、安全のためゴーグルを使う。
 - 8.3.5 皮膚の保護：特別な対策は、必要ない。広い場所をスプレーする場合は、静電気防止の役目のある綿（天然繊維）服を推奨する。

9. 物理化学特性

- 9.1 一般データ：
 - 9.1.1 形状：液体
 - 9.1.2 色：透明
 - 9.1.3 臭い：無臭
- 9.2 安全性データ：
 - 9.2.1 引火点：関連なし。

- 9.2.2 沸点：100℃
- 9.2.3 発火点／爆発危険：適用なし。
- 9.2.4 密度（20℃）：約 1.03 g / c m³
- 9.2.5 可溶性：水に溶ける。
- 9.2.6 pH 値（20℃）：約 8.5

10. 安全性および反応性

- 10.1 避けるべき触媒反応条件：所定通りに製品が使われるならば、何もない。
- 10.2 避けるべき物質：特にない。
- 10.3 触媒分解製品：注意される製品でない。

11. 毒性情報

- 11.1 急性毒性：皮膚と目の炎症。
- 11.2 その他の毒性情報：特別な毒性は、報告されていない。
健康阻害の注意すべき点：長時間、皮膚に触れたり、吸入することは、避ける。

12. エコロジー情報：

- 12.1 持続性と分解性の情報：分解可能である。
- 12.2 エコ毒物的影響：所定の使用方法であれば、有害性はない。ホウ酸塩は、環境に分解する。ホウ素は植物成長のための欠くことのできない微量元素であって、微量元素として少量で作用する。大量のホウ素は植物に対して有害である。ホウ素酸塩は、水溶性で地面に浸透し、徐々に弱められる。製品に関する完全な生態学的データは、利用できない。

13. 廃棄処分：

- 13.1 廃液処理：EWCコード（ヨーロッパ廃液一覧コード）：廃棄物として特に指定しないEWCコード070699
- 13.2 容器および包装材の廃棄処分推奨方法：空容器は、集積所に集めて、リサイクルまたは回収することができる。空容器の廃棄物コードでないもの：EWCコード170904、170901、170903
言及されるそれら以外の混合建設と解体廃棄物。

14. 輸送情報：

- 14.1 ADR/RIDクラス／IMDG/I CAO/I ATAクラス：適用製品、特別な対策を必要としない非危険物質である。

15. 規定情報：

- 15.1 EU規定に伴う製品の証明：対象外。
- 15.2 製品の証明／危険コード：関係ない。

16. その他の情報：

- 16.1 指令：67/548/EU、89/542/EU、91/155/EU、91/689/EU、1999/45/EU、VbF、
WRM、GefStoffV、WHG、TRGS 300、200、220、ADR、IMDG、IATA-DGR。
- 16.2 製品の技術情報と内容については、ウェブサイトに記載されている。
- 16.3 推奨用途：カビの発生の抑制や除去に用いる。
- 16.4 改訂項目：2006-05-23 に新しく制定。

注意事項：本安全性データシートに含まれる情報は、現在の知識に基づいて記載されている。製品特性を保証するものではなく、従って契約における法的効果の根拠にはならない。本安全性データシートは該製品の保管、加工、輸送および廃棄処分において安全な取扱いをする上での手掛かりとなるものである。記載データは、該製品に関するものであり、他の製品に流用することはできない。本データシートに記載の製品を他の物質と配合、混合したり、加工したり、あるいは改良を加えたりした場合、何らかの変化が生じなかったことが明らかでない限り、調製された新たな物質には、本データシート記載のデータを適用することはできない。また、本データシートはドイツ語版の翻訳であって他国で適用できる規則への言及を含みません。